

統合開発環境High-performance Embedded Workshop ご使用上のお願い

High-performance Embedded Workshopの使用上の注意事項を連絡します。

- ビルドオプションを指定する場合の注意事項

本製品は、コンパイラやエミュレータデバッガなどのソフトウェア製品にバンドルされています。

1. 該当製品

High-performance Embedded Workshop V.4.09.00以降

2. 対象製品

上記の該当製品と以下のいずれかのコンパイラを組み合わせて使用する場合に問題が発生します。

- SuperHファミリ用C/C++コンパイラパッケージ V.9.04 Release 01
- RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ V.1.02 Release 00

3. 内容

リンク順序のカスタマイズ機能を使用してリンク順を設定している場合、High-performance Embedded Workshopで指定した最適化リンケージエディタ(リンカ)のbinaryまたはinputオプションのパラメータが、ビルド時にリンカに正しく渡されず、正しいオブジェクトファイルが作成されない場合があります。

4. 発生条件

以下のいずれかを満たす場合に発生します。

(1) binaryオプションの場合

以下の手順で、リンカへ入力するためのバイナリファイルを指定すると発生します。

(1.1) メニュー「ビルド」から ***** Standard Toolchainコマンドをクリックし、***** Standard Toolchainダイアログボックスを開く。

注：***** には、使用のコンパイラによってSuperH RISC engine もしくはRXが入ります。

(1.2) 「最適化リンカ」タブの「カテゴリ」リストから「入力」を選択する。

(1.3) 「オプション項目」リストから「バイナリファイル」を選択する。

(1.4) 「追加」ボタンをクリックし、「バイナリファイルの追加」ダイアログボックスを開く。

(1.5) 「ファイルパス」にバイナリファイル名、「セクション」にセクション名を入力する。

発生例：

ファイルパスに「f.bin」、セクションに「sec2」を入力した場合、ビルド時に、以下のようにセクション名がリンカに正しく渡されず、リンクエラーが発生します。

```
-binary="f.bin"
```

正しくは、以下のとおりです。

```
-binary="f.bin"(sec2)
```

(2) inputオプションの場合

以下の手順で、リンカへ入力するファイルに、モジュール名を指定したライブラリファイルを指定すると発生します。

(2.1) メニュー「ビルド」から ***** Standard Toolchainコマンドをクリックし、***** Standard Toolchainダイアログボックスを開く。

注：***** には、使用のコンパイラによってSuperH RISC engine もしくはRXが入ります。

(2.2) 「最適化リンカ」タブの「カテゴリ」リストから「入力」を選択する。

(2.3) 「オプション項目」リストから「リロケータブルファイル／オブジェクトファイル」を選択する。

(2.4) 「追加」ボタンをクリックし、「リロケータブルファイルまたはオブジェクトファイルの追加」ダイアログボックスを開く。

(2.5) 「ファイルパス」にライブラリファイル名、「モジュール名」にライブラリファイル中のモジュール名を入力する。

発生例：

ファイルパスに「test.lib」、モジュール名に「mod」を入力した場合、ビルド時に、以下のようにInputオプションがlibraryオプションに変わり、かつモジュール名がリンカに正しく渡されず、正しいオブジェクトファイルが作成されません。

```
-library="test.lib"
```

正しくは、以下のとおりです。

-input="test.lib"(mod)

5. 回避策

以下のいずれかの方法で回避してください。

(1) 該当オプションの指定方法を変更する

以下の手順で変更してください。

(1.1) ***** Standard Toolchainダイアログボックスの「最適化リンクカ

タブの「オプション項目」リストで選択した「バイナリファイル」

または「アブソリュート/リロケータブル/ライブラリ」を削除する。

(1.2) 「カテゴリ」リストから「その他」を選択する。

(1.3) 「ユーザ指定オプション」のリストから「アブソリュート/

リロケータブル/ライブラリ」を選択する。

(1.4) 「ユーザ指定オプション」の編集ボックスに、オプション文字列を入力する。

入力例：

binaryオプションを指定する場合

-binary="f.bin"(sec2)

inputオプションを指定する場合

-input="test.lib"(mod)

(2) リンク順序のカスタマイズ機能を無効にする

以下の手順で無効にしてください。

(2.1) メニュー「ビルド」から「リンク順の指定」コマンドをクリックし、「リンク順序のカスタマイズ」ダイアログボックスを開く。

(2.2) 「リンク順序のカスタマイズの使用」チェックボックスのチェックをはずす。

6. 恒久対策

各コンパイラパッケージの次期バージョンに、改修したHigh-performance Embedded Workshop を同梱する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。